

オリンピックで世界に貢献

千葉科学大学新聞



ドーピング検査の学生参加は世界初 これからの検査体制の先駆けに！

緊張しながら発表する前澤圭亮君

式典内で記念品の色紙を橋本聖子会長からもらう東祥三学長

保健医療学科前澤圭亮君が世界に向けて発表

「緊張しました」

オリンピック期間中のドーピング検査の活動報告を会場と全世界に向けて行うという大役を終えた保健医療学科の前澤圭亮君は、まだ緊張が解けない硬い表情の中にも、やり切った充実した笑顔でそういった。

「前澤君だから出来たんだよ。立派だったよ」一緒にいた同学科から参加した中原ひなたさん、東野凜さん、宮崎温人さんから声をかけられて少し照れていたところがほほえましい。

五月二十八日、東京都内において東京二〇二〇オリンピック・パラリンピックにおけるドーピング検体分析支援活動において、他大学と共に千葉科学大学が、日本スポーツフェアネス推進機構より「Japan Sport Fairness Award 特別表彰」を受け、また、東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会の橋本聖子会長より記念品の贈呈を受けた。

臨床検査を志す学生が、五輪大会のドーピング検査に支援参加することは世界初のこ

とであり、今回の成功を受けて、今後、国際的な競技におけるドーピング検査において大学の学生支援を行う可能性が高まった。本学は、その歴史の第一歩を作った大学となったのである。

橋本聖子会長からは、自身が十六歳で初めてカナダでオリンピックに出場し、ドーピング検査を受けた経験や、ドーピングと思われる選手を目的の当りにした体験を元に、検査の重要性を話した。

謝の意を表した。本学保健医療学科の教員でオリンピック競技大会組織員会大会運営局アドバイザーの三村邦裕氏は、「本学から参加の十四人は、最も難しい分野に挑戦をし、素晴らしい成果を上げた。非常に優秀であると同時にかけがえない経験が得たのではないかと。今後、本学も含め学生が期待されている」と、今回の成功を喜んでいた。

参加大学を代表して挨拶をした東祥三学長からは、検査の経験ができる期待感や学生の成長を樂しみにする一面と同時に、失敗したらどう責任を取ろうという心配もあったという心情を話したうえで、無事に成功したことに関係者への感



本学の参加者全員で記念写真。芝先生もご一緒です

いいものを見せてやる オープンキャンパス 舞台裏

	10:15頃	11:00	11:30	12:00	12:30	13:00	13:30	14:00	14:30	15:00	
薬学	30分 学科説明 場所：2105	20分 模擬薬局での薬剤師業務説明 場所：3103	20分 医療現場・薬剤師業務の体験	20分 高機能シミュレーションを用いた薬物治療	20分 学生との自由相談会	その他、時間があれば ・化学・生物・物理系体験実験 (複数同時実施、各10分間) 2105 ・模擬授業 (2-3名の教員が交代して、 程度の話を繰り返す)	15分				
危機管理学科	30分 危機管理学科の全体像を説明 場所：2208	なぜ危機管理学科にすれば消防官になれるのか？ 場所：2207 60分 なぜ危機管理学科にすれば警察官になれるのか？ 場所：2206 60分 なぜ危機管理学科にすれば行政官（県庁のスーパーエリート 60分 特別区・県庁・市役所職員等）になれるのか？ 場所：2204 なぜ危機管理学科にすれば民間企業に就職し活躍できるのか？ また 転職したい人（社風にない人）はどうすれば？ 場所：2203	20分 研究室訪問ツアー	2208							
保健医療学科	15分 保健医療学科の概要説明 場所：4203	60分 解剖学体験 フタの肺と心臓を医師の指導により観察する。 場所：4203	30分 臨床検査コースの説明 顕微鏡観察の体験 場所：4202 30分 臨床工学コースの説明 医療画像機器の体験 場所：4203 30分 救急救命コースの説明 気管挿管の体験 場所：4203	30分 臨床検査コースの説明 顕微鏡観察の体験 場所：4202 30分 臨床工学コースの説明 医療画像機器の体験 場所：4203 30分 救急救命コースの説明 気管挿管の体験 場所：4203	4203						
航空技術危機管理学科	10分 航空技術危機管理学科の概要説明 場所：2101	80分 パイロットコースの説明（施設見学・質疑応答を含む） 場所：2102 80分 航空工学・ドローンコース及び航空マネジメントコースの説明 (施設見学・質疑応答を含む) 場所：2104	80分 パイロットコースの説明（施設見学・質疑応答を含む） 場所：2102 80分 航空工学・ドローンコース及び航空マネジメントコースの説明 (施設見学・質疑応答を含む) 場所：2104	2101							
動物危機管理学科	30分 学科説明 場所：5204	60分 超動物の心臓解生の模擬体験を通して動物関連の学びについて知る 場所：5105 60分 顕微鏡観察の体験 場所：5203 60分 学科関連の施設見学、太平洋や南極・海を眺めながら、大学生活やフィールドワークをイメージする 場所：危機管理学科棟	60分 超動物の心臓解生の模擬体験を通して動物関連の学びについて知る 場所：5105 60分 顕微鏡観察の体験 場所：5203 60分 学科関連の施設見学、太平洋や南極・海を眺めながら、大学生活やフィールドワークをイメージする 場所：危機管理学科棟	60分 超動物の心臓解生の模擬体験を通して動物関連の学びについて知る 場所：5105 60分 顕微鏡観察の体験 場所：5203 60分 学科関連の施設見学、太平洋や南極・海を眺めながら、大学生活やフィールドワークをイメージする 場所：危機管理学科棟	5103						
看護学科	45分 学科説明 場所：6201	60分 COVID-19 対応病棟看護体験に参画！フル PPE 体験 場所：看護看護学実習室 60分 目の前は人がおられていたら全一服！救命救急体験 場所：成人老年看護学実習室 60分 高齢者の気持ちを考えてみよう！高齢者体験 場所：小児看護学実習室	60分 COVID-19 対応病棟看護体験に参画！フル PPE 体験 場所：看護看護学実習室 60分 目の前は人がおられていたら全一服！救命救急体験 場所：成人老年看護学実習室 60分 高齢者の気持ちを考えてみよう！高齢者体験 場所：小児看護学実習室	60分 COVID-19 対応病棟看護体験に参画！フル PPE 体験 場所：看護看護学実習室 60分 目の前は人がおられていたら全一服！救命救急体験 場所：成人老年看護学実習室 60分 高齢者の気持ちを考えてみよう！高齢者体験 場所：小児看護学実習室	6201						

女性からは評判が悪いチラシの効果は？

「何がなんでも必ずいい！いいものを見せてやる」という、今までは全く異なるフェイスのチラシで、良い意味でも悪い意味でも話題になった六月十九日のオープンキャンパスについて、本紙記載時点で各学科様々な工夫を凝らして皆さんを迎える準備ができています。本紙では、オープンキャンパスにいらっしゃる皆さんに、オープンキャンパスだけでは見ることのできないその舞台裏をレポートしよう。

まずは何より、このままで全く異なるイメージとなった「男性には受けるかもしれないけれど、女性にはちょっと評判が悪いんです。ちょっとこのチラシを配布して、女性の入学希望者が減ってしまうのではないかと心配です」とは、本学女性教員。この点に関しては、チラシの作成時点で、多くの意見があったのであるが、何しろ、作成チームが男性ばかりであること、「いいものを見せてやる」という情熱のホットバシリを止めること

「何がなんでも必ずいい！いいものを見せてやる」という、今までは全く異なるフェイスのチラシで、良い意味でも悪い意味でも話題になった六月十九日のオープンキャンパスについて、本紙記載時点で各学科様々な工夫を凝らして皆さんを迎える準備ができています。本紙では、オープンキャンパスにいらっしゃる皆さんに、オープンキャンパスだけでは見ることのできないその舞台裏をレポートしよう。

「何がなんでも必ずいい！いいものを見せてやる」という、今までは全く異なるイメージとなった「男性には受けるかもしれないけれど、女性にはちょっと評判が悪いんです。ちょっとこのチラシを配布して、女性の入学希望者が減ってしまうのではないかと心配です」とは、本学女性教員。この点に関しては、チラシの作成時点で、多くの意見があったのであるが、何しろ、作成チームが男性ばかりであること、「いいものを見せてやる」という情熱のホットバシリを止めること

「何がなんでも必ずいい！いいものを見せてやる」という、今までは全く異なるイメージとなった「男性には受けるかもしれないけれど、女性にはちょっと評判が悪いんです。ちょっとこのチラシを配布して、女性の入学希望者が減ってしまうのではないかと心配です」とは、本学女性教員。この点に関しては、チラシの作成時点で、多くの意見があったのであるが、何しろ、作成チームが男性ばかりであること、「いいものを見せてやる」という情熱のホットバシリを止めること

「何がなんでも必ずいい！いいものを見せてやる」という、今までは全く異なるイメージとなった「男性には受けるかもしれないけれど、女性にはちょっと評判が悪いんです。ちょっとこのチラシを配布して、女性の入学希望者が減ってしまうのではないかと心配です」とは、本学女性教員。この点に関しては、チラシの作成時点で、多くの意見があったのであるが、何しろ、作成チームが男性ばかりであること、「いいものを見せてやる」という情熱のホットバシリを止めること

CHIBA INSTITUTE OF SCIENCE
何かがなんでも必ずいいものを見せてやる!
10:00~15:00
完全予約制
2022.6.19 SUN

実際に生徒がやってみて楽しむ



写真を
見てほし
い。この写
真で何を
している
かわかる
人はかな
りな「マニ
ア」だ。そ
う、これは
本物の豚
の心臓と
肺である。
一般の人
の場合、焼
き肉屋で切
られてお皿
に並んでいる
「ハツ」とし
て見覚えがあ
るかもしれない
が、このように
「塊」になっている
のはなかなかない。
今回は、実際にこの心臓を
解体したり、肺に空気を
入れて動かしてみたりと、普通
ではなかなかできない体験を
行うことができる。実際に、
本学学生が解体をしている
姿は、本当に楽しそうだ。細
かく静脈や気管に沿って解
体をする手さばきは、まだま
だ慣れてはいないものの、この
ようにして慣れてゆくから技

大空へテイク・オフ



の興味のあることを、楽しみ
ながら学ぶことができる、とい
うことが体験できればよいの
ではないか。その意味では、こ
のようなことが好きな人には
すくなくない体験ではないかと
思うられる。

がシミュレーターの特徴だ。本
学では、これを使うことによっ
てパイロットとしての適性を
かるとともに、様々な事態が
発生しても落ち着いて対処
できるように訓練を行うこと
ができるのである。オープンキ
ャンプスに参加して空を飛ぶこ
とを体験してはいいかがであ
るか。

社会人になることの体験

もちろん、ドローンや航空マ
ネジメントコースも重要なだ。
薬学部と看護学部は、「薬
学べるようになっていく。看護
の実習というのは、人の命を
守ることに直結しているの
で、楽しいだけではなく、厳
しい所もたくさんあるのだが、
それでも常に笑顔をやさ
しいのが、この学部、そして看
護師や薬剤師の仕事なので
ある。その意味で、オープンキ
ャンプスでは仕事の中の「楽しい」
部分を多く体験できるとい
うことになるのである。

航空というのは、パイロットだ
けでは機能しない世界である。
全てを網羅するということの
重要性、そして、その一つひ
つの役割をこなすということの
重要性を感じる事ができ
るのはマネジメントコースだ。こ
れは、航空だけではなく、
当然に、全ての社会人に必
要なスキルを学ぶことができ
るのである。

ミレーションを用いた薬物
治療体験と、実際の仕事と
いうことを考える実習とな
っている。
薬剤師は、看護師とは異な
り、直接患者と触れたり話
したりということは少ない仕
事だ。その為に、離れた患者
との「つながり」を重視したコ
ミュニケーションが最も重要で
あり、薬というものを通して
患者さんの心に振れる体験
を味わってもらいたいのである。
このほかにも、様々な学科
があり、楽しい体験が待ってい
る。「いいものを見せてやる」と
いう言葉には嘘がないように、
見せるだけでなく、体で感じ
てもらいたい。

六月十九日のオープンキ
ャンプスの予定表は前頁の表の
ようになっていく。各学科が、
様々な工夫を凝らしてプロ
グラムを組んでいる。本当は
全て体験したいと思う人も
少なくないのではないか。その
ような方は、一日かけて全て
を回っていただいても良い。あ
なた次第で自由に見て回り、
そして、大学教員や学生と、
何でも話ができる。それがオ
ープンキャンパスなのだ。

さて、その中で今回ご紹介
するのは、危機管理学部保
健医療学科である。

今回は、実際にこの心臓を
解体したり、肺に空気を
入れて動かしてみたりと、普通
ではなかなかできない体験を
行うことができる。実際に、
本学学生が解体をしている
姿は、本当に楽しそうだ。細
かく静脈や気管に沿って解
体をする手さばきは、まだま
だ慣れてはいないものの、この
ようにして慣れてゆくから技

は、飛行機の整備から
航空に関すること、つまり、人
が空を飛べるようにすること、
全てを学ぶことのできる学科
である。
今回は、パイロットコースと
航空マネジメントコースに分
かれて説明を行い、ドローンの
ことなども学ぶことができる

ようになっている。当然に一
番人気はフライトシミュレー
ターだ。本物の旅客機と同
じ設備があり、航空機を操
縦している実感がある。もち
ろん「ゲームセンター」ではな
いのであるが、しかし、もし失敗
しても本物ではないので墜落
して犠牲を出すこともないの
で、安心して体験できる

一方薬学
部では、全員
が模擬薬局
からスター
トし、病院の薬
剤師業務、そ
して高機能シ



看護学部 梅田君枝先生

高校の時、生物と心理、南

生徒がいるのだ。

北問題や貧困などの問題に非常に興味があった梅田先生。自分で何かできることはないかと、看護の道へ進んだ。「人に関心があつたんです。全て対人関係が重要な事ばかりでしょ」

優しい目でその時の気持ちをお話してくれた。そんな梅田先生が災害看護に進むのは、出身地新潟の震災からである。そのようなときに、最も頼りになるのが看護師であると、震災の経験者は皆口を揃える。そのような環境で働ける人材を育てるのは、何が重要なのであろうか。

「災害看護にはテキストはあ

るんです。しかし、テキスト通りにこなして一つもない。災害の中で、冷静に自分の技術が使えるように、普段から何が

できるかを考えることが大事なんです」

そんな梅田先生の熱意のこもった指導は、看護の世界でも好評で、本学では、男性の看護師志望の学生が四割近くいる。平均七〇程度であるというから、五倍の男性



するの意味のGが重要なのである。看護師も、患者も、全ての人が災害を乗り越えてトラウマから成長することが重要なことだ。災害現場で落ち着いて対処できるような是非聞きたい講義ではないか。

薬学部 久保田洋子先生

た。久保田洋子先生だ。

病院内の薬局から医薬分離、そして経営の薬局を四店舗まで広げ、社会人の慶応大学院生の第一号の博士号を取得した。「あの時は途中でやめてハワイで薬局だそうと思っ

たんですけど、第一号になってもらいたいといわ

る気が無くなることの方

が問題なんです。」本人の自覚に任せるという

ことを、薬局経営の中で身に着けている。信頼されて



こんな先生に習いたい

危機管理という人、人命を救うという人、身体・生命の危機に

対する対応を学ぶことが多い。しかし、経済界では「リスク

マネジメント」という経済的な危機管理という

ことを指す場合が少なくない。そのような要望に答える

形なるのかもしれないが、危機管理学科七十七



危機管理学部 大平眞志先生

て講義をしています。実際に、生徒から「先生の講義を受ければ起業できますか」と聞かれると「この学問は君が起業

という通りに、様々な危機が待っています。前職の金融関係の時には、そのように公開している人をたくさん見てきました。現在はインターネットなどで簡単に企

業をしますが、それは様々な危機が潜んでいます。本学の卒業生には悔しい思いをしてほしくありません。今からできることは何かと聞いてみた。

「夢を持つことです。」

「さあ、皆さんも人生の中の危機を学び、持ち続けた夢を掴んで起業をしてみよう。」

千葉科学大学 全教職員アンケート

私たちが責任をもって皆さんの明るい未来を約束します



千葉科学大学新聞編集部では、本紙読者の皆様や、これから本学の入学を目指す高校生の皆様、またはその保護者の皆様が最も興味があると思われる、「どんな先生が大学で教えているのか」ということを明らかにするために、全教職員アンケートを行いました。

アンケートの設問は下記のとおりである。
ここでは、そのアンケートをすべて公開するには、紙面が足りないため、今回は、そのアンケート結果の傾向や、面白い回答に関してご報告してみたい。

「生き物が好き」が多い

先生にも様々な個性があり、アンケート用紙一杯に書いている人や、簡潔にまとめている人、箇条書きで書く人など、十人十色の表現である。これは、多くの教員が、普段から「どうしたら、学生たちにわかりやすく説明する」ということを意識していることなのだ。

回答の中心は、さすがに「人を助ける大学」ということだけあって「子供のころから生き物が好き」という先生が少なくない。その次には「テレビドラマの影響」

「昔見たアニメーションの影響」を受けたという回答が多かった。人は、必ず何かきっかけがあり、

その時に大きく心が動いて、自分の進むべき道を決めるものだ。千葉科学大学の先生は、小さな頃から好きなことをして、そして人を助けるストーリーにあこがれた経験を持つ人が多いということになるのだ。

この事は読者の皆様も同じであろうと思う。世代が異なるので、見ているドラマやアニメは異なるかもしれないが、しかし、あこがれる気持ちはわかるのではないかと。つまり、皆様にも大学教員になる可能性が少なくないということなのである。

それでは、特に面白い、興味がある回答例をこの後見てゆくことにしよう。きつと、皆様も、うまく言葉にできないだけで、どこかに似たようなことがあるのではないかと。

スーパーマンに憧れ

ポケモンカードのコレクターが危機管理学部の教授にいます。それもかなりのレアカードを保有している。そのコレクションは、研究室に行けば見せてもらえる。もちろん、オープンキャンパスでも見せてもらえる

これがアンケートの設問だ！

第一問 □ 私はこんな教員です（趣味や性格を含め）

千葉科学大学教員の自己紹介です。細かくプライベートの事を描いている先生もいますし、自己分析をした性格を書いた先生もいます。また趣味の話をとくさん空いてくれている先生も少なくありません。比較的スポーツ観戦をすることが趣味という先生が多いようです。

第二問 □ 紹介・内容内容（専門分野や研究内容を分かりやすく）

誰にでも初めてということとはあるものです。赤ん坊のころから専門家になっているなどという人は、アニメの主人公以外にみ

第三問 □ 専門分野を目指すようになったきっかけ（子供のころの思い出など）

千葉科学大学が、将来どのような未来を約束しているのか、先生方に予想してもらいました。明るい未来から悲観的な未来まで、様々な予想がたくさん出てきています。もちろん、それが皆さんの母校になるのです。

第四問 □ 本学が将来どうなっているか予想してください

千葉科学大学が、将来どのような未来を約束しているのか、先生方に予想してもらいました。明るい未来から悲観的な未来まで、様々な予想がたくさん出てきています。もちろん、それが皆さんの母校になるのです。

のだ。実は千葉科学大学の隠れた名物になっている。

このほかにも、ウクレレが趣味、ディズニー・ムーミン・韓流ドラマなど、様々な趣味の先生がいて、その内容について気軽に話すことができるのが

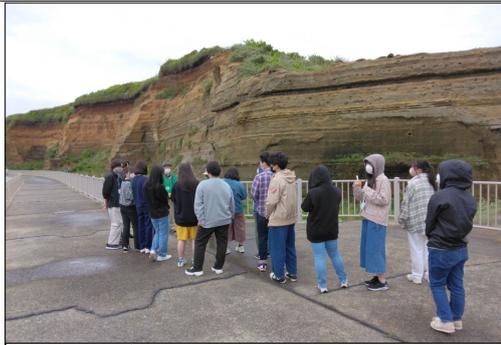
航空技術管理学科では、スーパーマンに子供のころからあこがれ、空を飛ぶことを志した先生もいる。それも、元現役のパイロットなのだ。スーパーマンのようにはいかないが

空を飛ぶ夢を叶えたことは間違いがない。このアンケート結果は、公表

の予定はないが、模擬授業や個人訪問などで「こんな先生と話したい」というような要望があれば、それにあった先生に話してもらおうように入試広報部が手配することになっている。

自分の憧れの先生を見つけ、進路をいち早く決めてもらいたい。

ジオパークで学ぶ 他では聞けない話 体験できる授業



班ごとに分かれて話を聞きます

ジオパークから

生命の根源を学ぶ

五月に入って皆さんも徐々に落ち着いてきたところ、大学の講義もいよいよ本格化してきている。

看護学部では、「銚子ジオパーク市民の会の皆さんをお招きしてジオパークにおける『生命の起源』を学んだ。まずは、小玉副会長よりジオパークとは『景色・生き物・歴史・文化・産業の全般から、台地・生き物・人の営みの『つながり』を学ぶこと』というような紹介があり、その後、銚子のジオパーク市民の会の設立に千葉科学大が深くかかわっていることを紹介した。

その後市民の会の房州様より、普段屏風ヶ浦の清掃活動をしている様子や、その時に目にするのできる貴重な自然や生き物の姿をスライドを使って見せてもらった。看護学部の生徒は、その

貴重な映像絵も興味津々に感じて見ていたのが印象的であった。

通常ならば、このような資料だけで終わるが、千葉科学大学の特別講義はここからが本番だ。四つの班に分かれ、一つの班に市民の会から二人ずつの解説者を付けてもらって、実際に屏風ヶ浦まで歩き、地層の話や自然の話、本物を目の前に見ることができたのだ。

銚子のジオパークは、世界でも貴重な遺産で、人類が生まれる前の地層を見ることができればかなりではなく、生命の根源や数億年の地球の成り立ちを学ぶことができる貴重な場所なのだ。

少し雨模様の中ではあったが、生徒にとっては刺激的ではなかっただか。はじめのうち看護学部にとっては関係ないように思えたジオパークも、生命の起源、人類の起源となれば、また違った感想になる。その貴重な命を救うために学んでいることを、多くの生徒が改めて学んだのではない。

保護をしてゆかなければ未来の人に申し訳ないんです。現在では、東京からも小中学校の見学や解説の依頼があり、年間数千人解説して

人も接するので、健康になりました。ジオパークは四年に一度審査があって二回失格してしまうと外されてしまいます。だから、市民だけではなく、多くの人が知ってもらい、参加してみよう。

市民の会の房州さんはい。ジオパークの活動をして、全国を飛び回り、外に出て若い人に接するので、健康になりました。ジオパークは四年に一度審査があって二回失格してしまうと外されてしまいます。だから、市民だけではなく、多くの人が知ってもらい、参加してみよう。

特別講義ならば、危機管理理学部も好評だ。動物危機管理学科では、博物学を学ぶコースがあるが、その中で、化石の世界で有名な山田勝彦氏を招き、化石を学ぶ講義を行った。

特に今回はサメの歯の化石について学んでいる。



化石を見る目も真剣で楽しそう！

光る化石を触る授業

自由に見ることができない。触って感じることで講義も喜んで。自然は巨大な薬局だ

所で皆さんは化石を触り、そして自分のみ鯛角度から見たことあるだろうか。なんと、この特別授業では、化石を自分で触り、様々な角度から見て、知ることができるのだ。

「化石は、よく見ていると、ポワッと光って見えるんです。化石が私たちを呼んでいるんですね。そういう時は、触って見てあげればよいのです。必ず化石は何かを語ってくれます。」

そう語る山田氏の言葉も耳に入っていないかのように、生徒たちは、目を輝かせて化石に夢中であった。

「化石はケースの中に入って、

「雑草という草はない」という言葉はあるが、屏風ヶ浦周辺で、この時だけでも十数種類の雑草があり、その効能や使い方、見分け方などを丁寧に習った。中には、植物を摘んで口の中に入れてみる生徒も。「良薬口に苦し」とはいうが、非常に甘くおいしい「菓草」を、自ら体験し、驚きの顔をしていた。

「クライシス状態の中では、薬も手に入らないが、近くにこれだけの雑草があり、その適切な使い方を知っていれば、どんな状態でも人を助けることができる。」とは、東学長。

一方、生徒は、「普段は室内での実習や座学が多いが、外に出て

薬学部の一年生は、屏風ヶ浦で雑草を見分ける講義を行った東学長だけでなく、学園本部広報からも集まると、市民の会や薬学部の先生から、話を聞いた。

安東学部長に話を聞いたかったが、菓草を取るのに走り回ってなかなか話を聞くことができないくらい、熱中して菓草を摘んでいた。

担当した高崎先生は「学内や自然の中にある薬を求めて歩くことが大事。薬はこのような生薬の成分を抽出したものですから、その成り立ちを知り、人を助ける薬剤師になってほしい」といった。

学長も菓草の説明を受けています



学長も菓草の説明を受けています

卒業生訪問 高砂さん

大林製作所で小型レントゲン機の設計



飯島社長とヒールをはいた高砂さん

保健医療学科を二〇一九年に卒業した高砂知沙さんは、在学中に国家資格受験をあきらめてしまった。

「電気系のが全く頭に入らなくなってしまうって、やる気がなくなってしまうんです」

そこから、就職して人を助ける道を選んだのだ。そして老舗医療機器メーカーの株式会社大林製作所に入社し、今年で三年目になる。

「たった三年で設計をこなせるのは、本当にすごいことです。」

「製作所などは男性社

会ですから、女性が入ることで、廻りの雰囲気も良くなりますし、部署が一つにまとまるようになってます」

大林製作所の飯島秀幸社長はそうのように、高砂さんに対して手放しで誉めている。

高砂さんが設計したのは「Foot」など、ポータブルで持ち運び可能な小型で軽量の検診車。聞いてみると、発展途上国で予算が少ない中で、多くの病院が一台のレントゲンを使うことを考えると、自動車やヘリで、女性でも運べる重量と小型化が必要と思ったという。現場を見て、必要と思う内容を、自分なりに工夫し自由な発想で形にしてゆくという、本校の校風にあつた仕事ぶりであることがわかった。



このような高砂さんの設計により、発展途上国だけでなく、日本においても新型コロナウイルスの治療にあつたって、ホテルなどの臨時療養施設において、患者のいる部屋までレントゲンを移動させて検査ができるようになった。そのようなことから、宮城県庁など地方自治体からの注文も少なくないという。

どうしてこんな仕事ができるのか。本人に聞いてみた。

「自分のスイッチのオン・オフが大事だと思います。在学中もテスト中はオンですが、それ以外はすぐに切り替えるという感じです。今は、バスケットボールを観戦したり、今でも銚子市のバスケットムに入っているの、たまにバスケットをして体を動かし、オフの時間を作るようにしています」という。

仕事ではオンオフが大事というが、まさに「遊べる人は仕事のできるひと」という言葉を体現した感じだ。

株式会社大林製作所は、今年創業七〇周年。社長は、「百周年に向けて、リハビリやエックス線のシステムメーカーとして発展してゆきたい。その時には、まだ現役である高砂さんが活躍していると思う。今も、産官学の共同政策などで、頑張ってもらっている。これからの活躍が楽しみだ。このような生徒さんならこれからは、千葉科学大学の生徒を採用したい」と言っていた。

子宮頸がん周知 銚子駅前で活動



千葉科学大学学生が自発的に作った子宮頸がん啓発、予防活動のサークルcolLens(コリウス)とProtect Loving futu(ふと)、危機管理サークル「DPR」が共同して、銚子駅前において啓発のためのチラシ配布活動を、五月十八日の朝、銚子駅前で行った。

両サークル合わせて約四〇名の男女の参加者(教職員約一〇名を含まず)が朝から銚子駅を利用する皆様にお声がけし、チラシを配布した。事前に準備した配布物約一〇〇部を、八時過ぎには持参した。



たチラシ全ての配布が終了した。銚子駅を利用する人の関心も高く、中には足を止めて話を聞く人の姿も見られた。また男性にも配布し、男性の理解も必要であるという事を強く訴えた。

また、当日はDPR音楽隊による音楽の演奏も披露され、多くの人の関心を得ることができた。

次はこれだ！



話題になった オープンキャンパスのチラシ。次は七月二十三日・二十四日の二日間行われる。そのチラシがこれだ！

目から様々な「波動」が感じられる。当然に今後様々なところでこのチラシが目に入るであろう。

次のオープンキャン

パスでお会いできることを楽しみにしています。もちろん「いいものを見せてやる」という気概は全く変わっていません。

発行 千葉科学大学入試広報部

発行人 田中良

編集人 宇田川敬介

写真 伏見泰治